

8-4-22 設計ソフトウェア連絡WG

③ 改定道路橋示方書 SWG への参加・活動

1. 主な活動の記録

(設計ソフトウェア連絡WGWG長 山下 智康)

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名より構成。

(2) 「深礎基礎の設計計算プログラムに関する検証報告書」の作成

現在販売中及び開発中の深礎基礎の設計計算プログラムが、平成 24 年に発刊された「道路橋示方書IV下部構造編」及び「斜面上の深礎基礎および深礎基礎施工便覧」の規定に準拠したものであるかどうか、また設計計算プログラムが実用上問題ないレベルで同様な計算結果を与えるかどうかについて、深礎基礎設計プログラム研究会及び設計ソフトウェア連絡 WG で検証した経緯とその結果について報告書として、とりまとめた。また、報告書を最終的にとりまとめる段階においては、設計ソフトウェア会社、建設コンサルタンツ協会委員にて WG を実施し、報告書の内容確認、意見交換を行うとともに、取扱い等について協議を行った。

本活動は技術委員会からの要請により平成 26 年 8 月から着手し、その後、約 3 年間もの各種開発～改良期間を経て、一定の成果を得ることに至った。

(3) 改定道路橋示方書 SWG への参加

平成 29 年に改定された道路橋示方書の理解促進等に対応する改定道路橋示方書 SWG へ参加し、設計ソフトウェア会社と意見交換、国総研・土研との実務者意見交換会への参加等の活動を行った。

2. 次年度の活動について

平成 30 年度も以下の活動を継続的に実施する。

- ① 設計ソフトウェアに関する課題収集と整理
- ② ソフトウェア会社との意見交換の実施